『依存』から『自立』へ … あなたの町『城南』です　みんなで創ろう住みよい町を!!

城南かわら版

上田城南地域協議会だより

平成25年3月16日発行
（第5号）

発行元：上田城南地域協議会
（事務局）市民参加・協働推進課
電話22-4100　内線1354

■拝啓　城南地域の皆様

暖冬予報でしたが厳冬の日々を耐えて、ようやく梅から桜の花便りが聞こえて来る季節となりました。早春の陽射しの温もりに、ほっとする今日この頃です。

さて、地域協議会が発足してから4期目（1期2年・委員任期3期まで）も後半へと入り、4部会は各テーマにそって現地視察や研究・勉強会を重ね、実りある提言に向けて協議をしております。

母袋市長は『市民との協働』は『市政の基本理念』であると言われております。「官」と「民」は車の両輪に例えられ、それは、それぞれが同じ大きさの輪でなければなりません。片方の輪が小さくては同じ所をぐるぐる廻っているだけで前には進みません。例えば「民」の輪が小さくては、『協働』は成り立ちません。協議会は、『官と民』のすき間を埋め、地域にわずかでも貢献できればと努力を重ねております。

まちづくりは、何よりも自分の住むまちへの思い入れがなければなりません。

『依存から自立へ』住みよいまちづくりを、地域の皆様とともに推進したいと願っております。

横断歩道で手を挙げて渡り終えた小学生たち、通学路の安全を守ってくれる黄旗の地域のボランティアの皆さんや、止まってくれた車に向き直って「ありがとう」といって頭を下げる可愛い顔、つぶらな瞳。そんな子どもたちの未来と安全を守ってやれる「城南のまち」を創りましょう。

来月は当地域の桜も、満開の花が咲き揃います。花よりダンゴもいいものです。

お身体くれぐれもご自愛くださいますように　　敬具

平成25年　弥生　　会長　**山浦　正嗣**

■地域協議会ってどんな機関なの？

①主な活動

月1回の定例会議を軸に、地域の意見や要望等について検討・集約し、行政に対して提言を行ったり、意見を述べたりして施策に反映していきます。地域の課題や状況を確認するため、現地視察を行ったり、地域の皆さんが主体的に取り組む「わがまち魅力アップ応援事業」の審査も行っております。

会議は公開制ですので、傍聴が可能です。

地域協議会での実績報告
加美幡そば愛好会の皆さんの説明

②構成メンバー

20名で活動しており、地域を代表する団体や自治会連合会等から推薦された方、公募で参加された方が構成メンバーです。

③最近の例会風景より

「荒廃農地有効活用事業」（加美幡そば愛好会）活動報告

12月12日の定例会議では、当協議会で「わがまち魅力アップ応援事業」として審査しました、掲記の事業の活動状況報告を「加美幡そば愛好会」の役員の皆様にしていただきました。

休耕農地にそばを育てる作業のご苦労話、開花時期の写生・撮影会、それに収穫行事の様子など、興味深く拝聴させていただきました。

こういった事業は主催される方々に、過度な負担なく、楽しみながら継続していただきたいと、再確認いたしました。

今回ご報告いただいた愛好会の皆様、大変ありがとうございました。

別所線とそば畑
9月15日に行われた写真撮影会の様子

■こんな活動に取り組んでいます。（部会活動状況報告）

①「里山及び農地の保全と再生」部会

「里山及び農地の保全と再生」部会では、7月18日と8月22日の2回に渡って、城南地域の抱えている「里山と農地」の問題点を洗い出し、今回は「農地の保全と再生」をテーマに取り組むこととしました。

城南地域の優良農地の確保と有効利用を進めるため、耕作放棄地の解消及び発生防止に現状の調査、研究を関係団体等と懇談会を行いながら諸問題の解決に向け協議を行っております。

【これまでの主な活動】

①JA信州うえだ、上田市農業委員会、上田市農政課との懇談会開催

②小牧・諏訪形地区の耕作放棄地現地調査を実施（右写真）

【今後の活動方針】

・荒廃農地及び遊休農地の現状把握

・モデル自治会を指定して実態調査

・実態調査に基づき荒廃農地及び遊休農地のリスト作成

・活用方針の検討及び方針に基づいた活用実施計画を立案・検討

部会長　西川　良幸

耕作放棄地の状況視察（千曲川沿い）

②「生活道路の安全性整備、公共交通機関の利便性向上」部会

現在、部会で取り組んでいる活動は、学童の通学路の危険箇所や不審者に対する問題のある個所のチェックリストの作成です。城下小学校、川辺小学校、南小学校を訪問して担当の先生より課題及び取組等についてお話を伺いました。通学路の危険個所、「安心の家」等書き入れてあるマップをいただいてまいりました。各小学校の危険個所は、城下小学校約25ヵ所、川辺小学校約60ヵ所、南小学校約35ヵ所とかなりの多さです。これを参考にして現地調査を行いました。

道幅が狭く歩行帯がないので車が通ると危ない場所や見通しの良い直線道路では車がスピードを出して走っている状況、角に高い塀や草等が生い茂っている見通しが悪い場所などを確認しました。また、用水路にフェンスが無く、蓋も無い所があったり、街灯が少なく夜間は危ない場所等、様々な問題があることが分かりました。今後もさらに調査検討を進めて、生活道路、学童通学路の安全性の向上につなげられるよう活動してまいりたいと考えています。

部会長　牧野　良平

南小学校区　中之条地籍通学路の様子

城下小学校区　三好町交差点付近の様子

ほかにもこんなテーマで活動中です。

◆「子育てと高齢者について」　（部会長　宮下　千元）

◆「地域内分権の推進について」（部会長　山浦　健太郎）

■わがまち魅力アップ応援事業の紹介

今回は「天白山石段改修及びあずまや建設事業」（下之条自治会）です

平成23年5月「下之条をよくする会」を立ち上げ、6月に「下之条ふるさと振興委員会」に名称を改め活動を進めてまいりました。下之条自治会が管理している天白山には、古くから石段が設置されており、石段及び周辺の草刈り清掃等を行ってまいりました。階段周辺は、年月の経過と共に損傷がひどく、放置されたままになっておりました。

平成24年度「わがまち魅力アップ応援事業」に応募し、石段の改修及びあずまや整備を行う事にしました。現場は急勾配で200kg積載可能なモノレールを設置し、資材を運搬しました。石段を登りきった広場にはあずまやを整備し、木造でベンチ、リサイクルの廃プラを使用したテーブルを配置しました。

あずまやは凍結防止、雑草対策のため、防草シートを敷き、その上にインターロック方式を採用して整備しました。また、広場周辺の樹木を伐採し、眼下に下之条、上田市街地、烏帽子岳が眺められる絶景の場所となっています。昨年11月開催の「上田道と川の駅」の秋穫祭では、80歳台の女性も登られました。今後は植栽、看板設置、巡回路整備に力を入れてまいります。安全に登れますので、大勢の皆さんが訪れることを願っております。

代表者　寺島清三郎

階段を登りきるとあずまやが迎えてくれます

改修された石段（手すりもつきました）

■城南公民館の完成式が昨年12月14日㈮に行われました。

長年にわたる地域住民の皆さんからの要望が叶い、城南公民館が新築となりました。その完成式が、去る平成24年12月14日㈮関係者約100人の皆さんの出席のもとに行われました。

完成式は、まず正面玄関前で母袋市長をはじめとする8人の皆さんによるテープカットがあり、続いて北側道路に面した壁面に設置された寄贈レリーフ（原画は柳沢京子さんの切り絵）の除幕式が行われました。その後、大ホールに移動して式典が行われ、市長あいさつ、経過報告、施設概要説明、来賓祝辞等があり、約1時間で終了しました。

また、正面玄関前では信州上田原合戦太鼓・上田原古戦場太鼓の演奏が、大ホールでは下之条太神楽のアトラクションがあり、完成式に花を添えていただきました。当日は、厳しい寒さの中でしたが晴天に恵まれ、城南公民館の良い門出となりました。

工事着工までの城南地域協議会の活動経過

平成19年2月
　第一次上田市総合計画「地域まちづくり方針」にまちづくり活動拠点（城南公民館）整備を位置付け
平成20年2月
　市へ早期建替えに向けた意見書の提出
平成21年3月
　市へ建設推進に向けた意見書の提出
平成23年3月
　実施設計業務の完了
平成23年7月
　建築工事着工（平成24年完成）

テープカットの様子

公民館北側に設置されたレリーフ

《城南さんぽ道》拡大版

～神畑の巻～

加美畑神社→地蔵堂→超誓寺

加美畑神社　建御名方命（たけみなかたのみこと）が出雲より信濃に下降の途中この地に留まった際の「神の幡」が「神畑」になったそうです。境内には蚕影社・疱瘡社など6つの社（やしろ）が合祀され、丁寧な説明板が付けられています。社地の東には信玄道と言われる小道があります。

地蔵堂　産川の大洪水で流れ着いたお地蔵様を拾い上げ祀ったもので、堂内には赤い巾着とよだれかけ姿の立像が安置されています。

超誓寺　寺の一部には信濃国分寺金堂の古材が使われています。薬師堂は、平成７年落雷で焼失し、翌年再建されました。

加美畑神社

◀ 地蔵堂

東屋（あずまや）へ行こう!!

城南地区の「わがまち魅力アップ応援事業」で造られた東屋を紹介します。（天白山は前ページ参照）

～倉升の巻～

長池水神宮→東屋→飯綱社

水神宮　長池はかつて三つの池でしたが創造館と長池公園になり、西の池だけが残っています。池のほとりに水神が祀られています。

東屋　整備された遊歩道を行くと開けたところに見晴らしが良い東屋があります。ここにはかつて炭鉱があり、その後警察の射撃練習場になったこともあった場所です。

飯綱社　集落の一番上に倉升の産土神（うぶすながみ）の社があります。趣のある本殿は山を少し登ったところにあり、そのすぐ上の尾根から東屋が見えます。

▼ 倉升の東屋

▲ 飯綱社

～小牧の巻～

四箇牧神社（しかまき）→下の城→上の城（東屋）

四箇牧神社　航海の安全を守る神が祀られている小牧の産土神です。

下の城　男坂と女坂があり、女坂の登り口に真田幸村と十勇士の石像があります。２０分ほどで市街地が一望できる山城の跡へ着きます。

上の城　更に２０分登ると佐久平まで見渡せる上の城です。ここに楽遊学クラブの会員が材料を人力で運び造った東屋があります。ここからの初日の出は見事でＵＣＶでも放映されました。秋には市民参加のトレッキングがあり、下山してからの山賊鍋も楽しみです。

◀ 四箇牧神社での山賊鍋

上の城の東屋 ▶

飯綱社
本殿の鬼瓦 ▶

※当コーナーでは皆さんからの情報提供をお待ちしております。

◆◇　あとがき　◇◆

城南かわら版 第５号をお届けします。

第４期城南地域協議会の活動も半分が過ぎようとしています。５年目を迎えたわがまち魅力アップ応援事業に採択された皆さんの活動も活発です。本号はこれらの活動内容を中心にご報告いたしました。どうぞご一読ください。

今後も地域まちづくりに対する積極的なご意見・情報を事務局までお寄せください。